

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社相輝	代表者	会田雄一	法人・事業所の特徴	通所介護、グループホーム併設 ・その方らしく自由に気持ちよくケアを受ける事ができいつまでも笑顔がいっぱい元気よく楽しい生活が送れるようにトータル的にサービスを提供している。 自宅での生活の把握に努め、内服管理を行い健康管理に気を配る。短時間での訪問にて安否確認を行っている。電話での安否確認も行う。
事業所名	小規模多機能施設 ひまわり	管理者	会田卓也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	6人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	アプリを活用し情報共有ができる。	常勤非常勤にかかわらず活用することができた。	ジャンディにあげられていない情報があった。フィールドバックができていない。	アプリ活用で情報の洩れをなくす。また、フィールドバックが必要な情報については見極め対応する。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ感染対策継続。ゴミ置き場を衛生的にする。衛生委員会の活動を活発に行う。また職員に周知する。	水回りのカーペットタイルを樹脂のタイルに変更し消毒しやすくした。模様替えにてスペースを広げた。ゴミ箱交換。	衛生委員会について活発な活動ができなかった。（感染対策にて会議自粛。	衛生委員会の提示開催。コロナ感染症対策継続。
C. 事業所と地域のかかわり	感染対策をしつつ地域とのかかわり方を模索していく。	地域会議は中止が多く1回しか参加できなかった。	コロナ感染症のため地域とのかかわりはできなかった。	感染対策を徹底しても感染の不安が大きいので地域交流は難しい。事業所として外部会議に参加し地域の状況の把握に努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	民生委員とのかかわりの強化。	民生委員より利用者を取りまく地域の方からの協力を得られた。	地域でケアできたケースを元に無理のない地域住民とのかかわりを見出していきたい。	民生委員に限らず地域住民との交流を広げていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	集まる人数を制限して安全に開催できるように検討していく。	開催できず。会議スペースが狭く、感染対策に限度があった。	状況の報告を定期的に行うことができるが良い。	運営推進会議の代替えで定期的な利用状況の資料なども配布し、施設内の状況の報告をする。また、アンケートにてニーズを把握する。
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練が定期的に行われていない。	9月、3月を予定していたができなかった。	地域での訓練はなかった。防火管理者の業務整理が必要。	施設全体で行うようにしていたが、実施方法を検討し、定期的に行うことができるようにする。